

# 提案募集における新規追加の提案 及び判断の基準等の見直し等の提案

1. 令和8年度の提案募集の概要について
2. 新規追加及び見直し等の提案一覧
3. 提案品目・提案内容に係る検討（物品・役務）

令和8年8月3日

# 1. 令和8年度の提案募集の概要について

## ■ 提案募集の概要

- ➡ 提案募集期間           ： 令和8年5月11日～6月11日
- ➡ 提案品目数             ： 物品13件、役務1件、公共工事10件、  
                                  分野横断2件の計**26件**※

- 提案募集に当たっては、温室効果ガス排出削減（CFP等の定量的環境情報の開示やカーボン・オフセットされた製品・サービス等含む）及びプラスチック資源循環に特に資すると考えられる提案、2段階の判断の基準（基準値1、基準値2）の更なる活用に向けて、国等の率先調達により初期需要創出への貢献が求められる先端的な環境物品等に関する積極的な提案を併せて求めたところ

※ 上記の分野・品目等については提案者の申告によるものであり、変更があり得る（現段階の品目等は次頁参照）。提案件数であって提案品目数ではない

## ■ 提案品目及び提案内容に係る検討

- ➡ 提案された資料を精査の上、必要に応じ、提案者に対する追加資料の提出依頼、ヒアリング等を行うとともに、提案品目に係る環境負荷低減効果、供給状況等を調査・確認し、新規追加又は判断の基準等の見直しに係る検討を実施

## 2. 新規追加及び見直し等の提案一覧【1/2】

- 新規追加の提案が**15品目**（物品・役務**7品目**、公共工事**8品目**）
- 判断の基準等の見直し※1※2に係る提案が**8品目**（物品・役務**6品目**、公共工事**2品目**）
- 分野横断（運用の仕組み等）の提案が**2件**※2

※1：対象範囲又は定義の見直しを含む

※2：災害備蓄用品の飲料水・食品の容器包装及び分野横断に係る提案は品目数には加算していない

| 分野（物品・役務）     | 品 目 等                                                                                                 |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 画像機器等         | リユースに配慮したコピー機等※①②                                                                                     |
| オフィス機器等       | 携帯型充電器（モバイルバッテリー）★                                                                                    |
| 自動車等          | リニューアブルディーゼル★①                                                                                        |
| 制服・作業服等       | 二酸化炭素由来の合成繊維を使用した制服・作業服等の繊維製品※②、安全靴※①②                                                                |
| インテリア・寝装寝具    | ブラインド※①                                                                                               |
| 災害備蓄用品        | 備蓄用おむつ★、備蓄用マスク★、携帯発電機※、飲料水・食品（プラスチック製容器包装）※①                                                          |
| 役務            | 小売業務におけるワンウェイのプラスチック製の買物袋（レジ袋）※①                                                                      |
| その他           | 屋外用ベンチ★①、持続可能な航空燃料（SAF）★①、凍結防止剤・融雪剤★①②                                                                |
| 分野横断（運用の仕組み等） | マスバランス方式によりバイオマス由来特性又はケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチック及びその運用方法<br>素材・中間製品の再生材利用や温室効果ガス排出削減等の環境価値情報を活用した評価方法① |

注1：★印の品目は新規追加の提案

注2：※印の判断の基準等の見直しの提案（対象範囲又は定義の見直しを含む）

注3：①印は基準値1としての提案、②印は基準値2としての提案

## 2. 新規追加及び見直し等の提案一覧【2/2】

| 分野（公共工事） | 品 目 等                                                                                                                                                          |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 資材       | リサイクル原料（ポリスチレン）を使用した軽量盛土材、建築物内装用・建築物外装用塗料、リニューアブルディーゼル（RD）、木材・プラスチック複合材製品※①、スラグせっこう板、建築向け厚板（GXスチール）、バイオディーゼル燃料混合軽油（B5）、バイオディーゼル燃料混合軽油（B20）、高日射反射率塗料及び高日射反射率防水※ |
| 工法       | 3Dプリント建設工法                                                                                                                                                     |

注：※印の品目は判断の基準等の見直しの提案、①印は基準値1としての提案。他の品目は新規追加の提案

#### （１）分野横断の提案

- ① マスバランス方式によりバイオマス由来特性又はケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチック及びその運用方法
  - ➡ マスバランス方式の活用拡大に向けて、運用に当たっての要件を次のとおり変更してはどうかとの提案
    1. 独立した認証機関が定めた基準に基づき、原料調達からプラスチック製造工程までを対象として、第三者機関がトレーサビリティを評価・認証する仕組みに基づくこと
    2. プラスチック加工工程についてはISO規格に準ずること
  - ➡ マスバランス方式によりケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチックを使用した製品を追加してはどうかとの提案
  - ➡ 本年度からマスバランス方式によりバイオマス由来特性を割り当てたプラスチックの導入を認めたところ。ただし、マスバランス方式の活用する場合は、独立した認証機関が定めた基準に基づき、第三者機関がサプライチェーンのトレーサビリティについて評価・認証する仕組みに基づくことを求めている
  - ➡ サプライチェーン全体のトレーサビリティ確保の観点から、プラスチック加工工程以降の運用方法については、慎重な検討が必要ではないか
  - ➡ ケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチックについては、「(3)⑥ 飲料水・食品【災害備蓄用品】」及び「(3)⑦ 小売業務におけるワンウェイのプラスチック製の買物袋（レジ袋）【役務】」と併せて検討してはどうか

#### （１）分野横断の提案

##### ② 素材・中間製品の再生材利用や温室効果ガス排出削減等の環境価値情報を活用した評価方法の高度化

- ➡ 素材・中間製品における再生材利用や温室効果ガス排出削減等の環境価値情報を最終製品に適切に紐づけ、調達者が確認可能な形で提示する手法を判断の基準等とすべきとの提案（最終製品は個別の判断の基準を満たすこと）
- ➡ ２段階の判断の基準の基準値１として提案
- ➡ 素材・中間製品の環境価値情報の具体的なデータ化・紐づけ手法（具体的なプラットフォームなど）、環境価値情報の提供者及びサプライチェーンにおける対象、調達段階における当該情報の確認方法等について検討が必要ではないか
- ➡ 上記の実現可能性を検討の上、追加の可否等について検討が必要

## （２）新規追加提案品目

### ① 携帯型充電器（モバイルバッテリー）【オフィス機器等】

- ➡ リチウムイオン電池を用いた携帯型充電器（モバイルバッテリー）
  - 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品「電源装置」（リチウムイオン電池を部品として使用するもの）の該当製品
- ➡ エコマーク認定基準（商品類型No.169「モバイルバッテリーVersion1.0」）
- ➡ 環境負荷低減効果、供給状況、調達コスト等を踏まえ、追加の可否及び追加する場合の適切な判断の基準等について検討を実施してはどうか
- ➡ 併せて、携帯型充電器のシェアリングサービスについて検討してはどうか

### ② リニューアブルディーゼル【自動車等】

- ➡ 廃食用油、バイオエタノール等を原料とするリニューアブルディーゼル
  - ISCC等の第三者認証により、温室効果ガス排出削減効果が証明された燃料（燃料品確法の強制基準に適合）。環境価値証明書等を用いた供給についても対象
- ➡ 国等の機関の調達可能性、環境負荷低減効果、市場への供給状況、調達コストの低減見込み等を踏まえ、追加の可否、追加する場合の判断の基準等について検討を実施してはどうか
- ➡ 他の提案である「(2)⑥ 持続可能な航空燃料（SAF）」に関する検討と併せて実施してはどうか
- ➡ マスバランス方式やブックアンドクレーム方式の活用について検討が必要

## （２）新規追加提案品目

### ③ 備蓄用おむつ【災害備蓄用品】

- ➡ 主要材料がプラスチック、木質パルプの備蓄用おむつ
- ➡ エコマーク認定基準（商品類型No.104,No.105,No.168）
- ➡ 国等の機関の調達可能性、環境負荷低減効果、市場への供給状況（最終製品）、調達コストの低減見込み、仕様を限定した場合の競争性の確保や優先すべき機能等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか

### ④ 備蓄用マスク【災害備蓄用品】

- ➡ 主要材料がプラスチック、繊維（天然繊維・化学繊維）の備蓄用マスク
- ➡ エコマーク認定基準（商品類型No.104,No.105,No.168）
- ➡ 国等の機関の調達可能性、環境負荷低減効果、市場への供給状況（最終製品）、調達コストの低減見込み、仕様を限定した場合の競争性の確保や優先すべき機能等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか

### ⑤ 屋外用ベンチ【その他】

- ➡ 使用済み人工芝から回収した樹脂を原料とする屋外用ベンチ
  - 人工芝由来の樹脂をベンチ本体の主要部分（板材）に重量比で45%以上使用
- ➡ 国等の機関の調達可能性、環境負荷低減効果、市場への供給状況、調達コスト及び今後のコスト低減見込み等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか

## （２）新規追加提案品目

### ⑥ 持続可能な航空燃料（SAF）【その他】

- ➡ 廃食用油、バイオエタノール等を原料とする持続可能な航空燃料（SAF）
  - ISCC等の第三者認証により、温室効果ガス排出削減効果が証明された燃料（ASTM D7566に適合）。環境価値証明書等を用いた供給についても対象
- ➡ 国等の機関の調達可能性、環境負荷低減効果、市場への供給状況、調達コスト及び今後のコスト低減見込み等を踏まえ、追加の可否、追加する場合の判断の基準等について検討を実施してはどうか
- ➡ 他の提案である「(2)② リニューアブルディーゼル」に関する検討と併せて実施してはどうか
- ➡ マスバランス方式やブックアンドクレーム方式の活用について検討が必要

### ⑦ 凍結防止剤・融雪剤【その他】

- ➡ 環境配慮型（非塩化物系）の凍結防止剤・融雪剤
  - 従来の塩化物を主成分とする融雪剤と同等以上の融雪性能を確保しつつ、金属腐敗性、塩化物負荷、生態系への影響等の環境負荷の低減
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値1及び基準値2として提案
- ➡ 国等の機関における調達可能性（地域性、調達機関など）、環境負荷低減効果、市場への供給状況、調達コスト及び今後のコスト低減見込み等を踏まえ、追加の可否等を含め、検討を実施してはどうか

## （３）既存品目に係る提案（判断の基準等の見直し）

### ① リユースに配慮したコピー機等 【画像機器等】

- ➡ リユースに配慮したコピー機等（コピー機、複合機、拡張性のあるデジタルコピー機）の定義に係る見直しの提案
  - 現行の再生型機及び部品リユース型機を新たに「再製造機（リマニュファクチャリング）」として再定義
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値1及び基準値2として提案
- ➡ 再製造機の環境負荷低減効果、市場への供給状況、コスト等を踏まえ、定義の見直しについて検討を実施してはどうか

### ② 二酸化炭素由来の合成繊維を使用した制服・作業服等の繊維製品 【制服・作業服等】

- ➡ 回収した二酸化炭素を主要な合成原料（炭素源）として化学合成されたポリエステル等の合成繊維（カーボンリサイクル繊維）から製造された制服・作業服・事務服等
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値2として提案
- ➡ 環境負荷低減効果、供給状況、コスト、二酸化炭素由来のモノマー（EG、TPA）の製造方法等を踏まえ、判断の基準等の見直しについて検討を実施してはどうか

#### （3）既存品目に係る提案（判断の基準等の見直し）

##### ③ 安全靴【制服・作業服等】

- ➡ 労働現場等で使用される革製安全靴
  - 現行の繊維製の靴に加え、革製安全靴について対象範囲の拡大を図り、新たな判断の基準等を設定
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値1及び基準値2として提案
- ➡ 国等の機関の調達状況、環境負荷低減効果、供給状況及び今後の見込み、コストの低減見込み等を踏まえ、2段階の判断の基準の設定を含め、対象の拡大及び判断の基準等の見直しについて検討を実施してはどうか

##### ④ ブラインド【インテリア・寝装寝具】

- ➡ 「金属製ブラインド」の対象範囲の見直し
  - 非金属製ブラインドにおいても、現行の金属製ブラインドに係る判断の基準を満たす製品があることから、材質によらず対象とすべき
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値1として提案
- ➡ 国等の機関の調達状況、環境負荷低減効果、素材別の供給状況及び今後の見込み、調達コストの低減見込み等を踏まえ、対象の拡大及び判断の基準等の見直しを含め、検討を実施してはどうか

## （3）既存品目に係る提案（判断の基準等の見直し）

### ⑤ 携帯発電機【災害備蓄用品】

- ➡ 持ち運び可能な小型の発電機の排出ガスに係る判断の基準の見直し
  - ガソリンエンジン搭載発電機の排出ガス基準について最新の規制基準値に強化
- ➡ 環境負荷低減効果、市場への供給状況、調達コスト等を踏まえ、判断の基準等の見直しについて検討を実施してはどうか

### ⑥ 飲料水・食料【災害備蓄用品】

- ➡ 災害備蓄用品のうち、飲料水及び食料の容器包装にケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチックを使用したものの追加、判断の基準の見直し
  - マスバランス方式によりケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチックを10%以上使用（廃プラスチック等）
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値1として提案
- ➡ 環境負荷低減効果、市場への供給状況、調達コストの低減見込み等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか
- ➡ サプライチェーン全体のトレーサビリティの確保に関する仕組みの構築（最終製品の製造まで）が重要（マスバランス方式の運用）
- ➡ ケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチックについては、「(1) ① マスバランス方式によりケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチック及びその運用方法」及び「(3)⑦ 小売業務におけるワンウェイのプラスチック製の買物袋（レジ袋）【役務】」と併せて検討してはどうか

## （3）既存品目に係る提案（判断の基準等の見直し）

### ⑦ 小売業務におけるワンウェイのプラスチック製の買物袋（レジ袋）【役務】

- ➡ 小売業務におけるワンウェイのプラスチック製の買物袋（レジ袋）を提供する場合の要件（判断の基準）の見直し
  - マスバランス方式によりケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチックを25%以上使用（廃プラスチック等）
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値1として提案
- ➡ 環境負荷低減効果、市場への供給状況、調達コストの低減見込み等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか
- ➡ サプライチェーン全体のトレーサビリティの確保に関する仕組みの構築（最終製品の製造まで）が重要（マスバランス方式の運用）
- ➡ 現行の判断の基準であるバイオマスプラスチック配合率50%以上との整合に関する検討が必要ではないか
  - ✓ レジ袋の有料化については容器包装リサイクル法において規定
- ➡ ケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチックについては、「(1) ① マスバランス方式によりケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチック及びその運用方法」及び「(3)⑥ 飲料水・食料【災害備蓄用品】」と併せて検討してはどうか